

## 令和 7 年第 4 回野辺地町議会

### 定例会会議録

招 集 年 月 日      令和 7 年 9 月 4 日（木）

招 集 場 所      野辺地町議会会議場

開会（開議）      令和 7 年 9 月 10 日（水）午前 9 時 30 分

出席議員（12 名）

1 番	横 浜 睦 成	2 番	高 沢 陽 子
3 番	木 戸 忠 勝	4 番	村 中 玲 子
5 番	五十嵐 勝 弘	6 番	戸 澤 栄
7 番	古 林 輝 信	8 番	中 谷 謙 一
9 番	野 坂 充	10 番	大 湊 敏 行
11 番	赤 垣 義 憲	12 番	岡 山 義 廣

欠席議員（なし）

地方自治法第 121 条の規定により説明のため出席した者の職・氏名

町	長	野 村 秀 雄
副 町	長	江 刺 家 和 夫
教 育	長	小 野 淳 美
会 計 管 理 者	長	根 一 彦
総 務 課 長	高 山 幸 人	
企 画 財 政 課 長	西 舘 峰 夫	
防 災 管 財 課 長	木 明 裕 二	
産 業 振 興 課 長	上 野 義 孝	
町 民 課 長	富 吉 卓 弥	
介 護 ・ 福 祉 課 長	飯 田 貴 子	

健康づくり課長	木 明 修
建設水道課長	五十嵐 洋 介
建設水道課調整監	古 林 輝 樹
学校教育課長 兼学校給食共同調理場所長	飯 田 満
学校教育課指導室長	濱 田 健太郎
社会教育・スポーツ課長	玉 山 順 一
中央公民館長兼図書館長 兼歴史民俗資料館長	二 木 智 徳
代表監査委員	駒 井 広
総務課主幹	四 戸 俊 彰

本会議に職務のため出席した者の職・氏名

議会事務局長	田 中 利 実
議会事務局主幹	濱 中 太 一

議事日程（第 3 号）

日程第 1      議案第39号   令和 6 年度野辺地町一般会計歳入歳出決算の認定を  
求めるの件

町長の提出議案      な                      し

議会の提出議案      な                      し

会議に付した議案

議案第39号   令和 6 年度野辺地町一般会計歳入歳出決算の認定を求めるの件



---

◎開議の宣告

○議長（岡山義廣君） 本日の会議を開きます。

（午前 9時30分）

---

◎資料の正誤について

○議長（岡山義廣君） 報告ですが、町長から別冊決算書の正誤の申出がありましたので、正誤表を配付しております。

---

◎議案第39号 令和6年度野辺地町一般会計歳入歳出決算の認定を求めるの件

○議長（岡山義廣君） 日程第1、議案第39号 令和6年度野辺地町一般会計歳入歳出決算の認定を求めるの件を議題といたします。

会計管理者から決算の概要及び歳入の1款町税から13款使用料及び手数料まで説明を求めます。  
会計管理者。

○会計管理者（長根一彦君） おはようございます。それでは、議案第39号 令和6年度野辺地町一般会計歳入歳出決算の認定を求めるの件について、別冊決算書で概要をご説明申し上げます。

初めに、決算規模について申し上げますので、決算書202ページをお願いいたします。それでは、実質収支に関する調書、この調書は100円以下を調整し、千円単位で表記しておりますが、円単位でご説明いたします。歳入総額は87億5,598万7,329円、歳出総額は86億1,514万6,055円となり、歳入歳出差引額1億4,084万1,274円の歳計余剰金が生じました。この額から翌年度へ繰り越すべき財源2,628万1,000円を差し引いた1億1,456万274円が実質収支額となり、黒字として令和7年度一般会計の歳入に組み入れられました。

以上の決算額を前年度に比較すると、歳入は3,870万8,277円、率にして0.44%の減、歳出は2,781万9,910円、率にして0.32%の減であります。

次に、一般会計の歳入についてご説明申し上げます。64、65ページ下段をお願いいたします。歳入、予算現額合計91億74万6,000円に対し、調定額合計は88億141万2,532円、収入済額合計は87億5,598万7,329円、不納欠損額合計は321万5,487円、収入未済額合計は4,220万9,716円となりました。

収入済額について、前年度との比較及びその主なる増減内容を申し上げます。24、25ページをお願いいたします。1款町税、収入済額14億1,354万9,672円、前年度と比較すると7,378万2,425円、率にして5.51%増加しております。これは、主に1款1目個人町民税で定額減税事業などにより3,331万2,218円の減となった一方、2項1目固定資産税が1億1,313万2,899円の増となりました。この増加は、再生可能エネルギー関係の事業に関わるものであります。

なお、歳入全体に占める町税の割合は16.14%、前年度に比較すると0.91ポイント増加しております。

26、27ページ下段をお願いいたします。2 款地方譲与税、収入済額6,317万2,000円、前年度に比較すると371万4,000円、率にして6.25%の増加となっております。

28、29ページ中段をお願いいたします。3 款利子割交付金、収入済額60万3,000円、前年度に比較すると12万5,000円、率にして26.15%増加しております。

4 款配当割交付金、収入済額534万4,000円、前年度に比較すると179万6,000円、率にして50.62%増加しております。

5 款株式等譲渡所得割交付金、収入済額652万3,000円、前年度に比較すると273万9,000円、率にして72.38%増加しております。

6 款法人事業税交付金、収入済額1,886万7,000円、前年度に比較すると125万1,000円、率にして7.10%増加しております。

30、31ページをお願いいたします。7 款地方消費税交付金、収入済額 3 億2,652万2,000円、前年度に比較すると2,407万7,000円、率にして7.96%増加しております。

8 款環境性能割交付金、収入済額539万5,000円、前年度に比較すると28万2,105円、率にして5.52%増加しております。

9 款地方特例交付金、収入済額5,536万4,000円、前年度に比較すると4,782万1,000円、率にして633.98%増加しました。この増加は、主に定額減税事業実施に伴う町民税の減収分として交付されたものであります。

続きまして、10 款地方交付税、収入済額27億4,857万3,000円、前年度に比較すると2,737万7,000円、率にして0.99%減少しております。普通交付税が4,250万5,000円の減となった一方で、特別交付税が1,512万8,000円の増となりました。歳入全体に占める地方交付税の割合は31.39%で、前年度と比較すると0.17%減少しております。

11 款交通安全対策特別交付金、収入済額67万8,000円、前年度に比較すると 1 万9,000円、率にして2.88%増加しております。

32、33ページをお願いします。12 款分担金及び負担金、収入済額2,766万1,796円、前年度に比較すると2,918万7,773円、率にして51.34%減少しております。この減少は、主に野辺地町漁協からの水産基盤整備事業分担金の納付を先送りしたこと、また昨年10月から保育利用料及び学校給食費の無償化事業を実施したことにより負担金が減となったことによるものであります。

一番下の段、13 款使用料及び手数料、収入済額5,437万5,943円、前年度に比較すると74万6,022円、率にして1.35%の減となりました。

次の34、35ページから38、39ページ上段までの使用料が85万6,388円の増となった一方で、38、

39ページをお願いいたします、手数料は160万2,410円の減となりました。主に2項1目総務手数料、1節戸籍手数料の戸籍関係において50万4,650円の減、3目衛生手数料、1節塵芥処理手数料の埋立処分手数料で野辺地町漁協に関わる処分手数料、高水温被害対策の一環として減免したことからも減となっております。

以上、1款町税から13款使用料及び手数料までの収入済額の概要についてご説明申し上げました。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 決算の概要と決算書24ページ、1款町税から41ページ、13款使用料及び手数料まで質疑を行います。ページ数を言ってから質疑願います。質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで決算の概要と1款町税から13款使用料及び手数料までの質疑を終わります。

次に、歳入14款国庫支出金から21款町債まで、会計管理者から説明を求めます。

会計管理者。

○会計管理者（長根一彦君） 引き続き歳入の概要をご説明申し上げます。

40ページ、41ページをお願いします。14款国庫支出金、収入済額10億7,158万4,215円、前年度に比較すると3,515万4,223円、率にして3.39%増加しております。1項国庫負担金は1,247万1,359円の増となりました。これは、1目民生費国庫負担金、5節児童手当負担金などにより3,382万1,954円増加した一方で、2目衛生費国庫負担金で新型コロナウイルスワクチン接種対策費事業が制度改正により2,135万594円皆減したことによるものであります。

下段の2項国庫補助金は、2,315万4,110円の増加、目別の主な増減ですが、1目総務費国庫補助金は、1節総務管理費補助金で、デジタル基盤改革支援事業費などの新規事業により増となりましたが、2節地方創生臨時交付金で終了した事業などから減となり、1目総務費国庫補助金は1,559万9,590円の減となっております。

42、43ページ下段をお願いいたします。3目衛生費国庫補助金は、新型コロナウイルスワクチン接種の対象者が全町民から高齢者へ変更されたことなどから3,263万6,300円の減、44、45ページをお願いします、上段の6目農林水産業費国庫補助金は、特定漁港漁場整備事業に関わるもので6,234万5,000円の増となりました。

なお、歳入全体に占める国庫支出金の割合は12.24%で、前年度に比較すると0.45ポイント増加しております。

下段をお願いいたします。15款県支出金、収入済額9億226万3,732円、前年度に比較すると2,380万7,862円、率にして2.71%増加しております。主なる増減は、46、47ページ中段をお願いします、2項県補助金、1目総務費県補助金、3節核燃料物質等取扱税交付金で6,260万1,000円の増

額となる交付がありました。一方で、この決算書には記載はございませんが、4節企画費補助金で県事業の元気な地域づくり支援事業や物価高騰緊急対策市町村交付金事業が終了、皆減したことなどから、総務費県補助金は1,377万6,559円の増となっております。

2目民生費県補助金は、2,110万5,287円の減となりました。この減は、一番下の行、4節児童福祉費補助金に関わり、この決算書に記載はございませんが、令和5年度で事業が終了した子ども・子育て世帯応援金給付事業やひとり親世帯等臨時特別給付金事業の皆減などによるものであります。

48、49ページをお願いいたします。中段の4目農林水産業費県補助金は1,818万5,560円の増、これは水産業強化支援事業費で、町を経由した野辺地町漁協への補助金によるものであります。

7目教育費県補助金は、学校給食費無償化等子育て支援市町村交付金により皆増となりました。

なお、県支出金の歳入全体に占める割合は10.30%で、前年度に比較すると0.31ポイント増加しております。

50、51ページをお願いいたします。中段になります。16款財産収入、収入済額3,702万6,234円、前年度に比較すると2,188万83円、率にして37.14%減少しております。これは、主に次の52、53ページをお願いいたします、2項財産売却収入、4目出資金返還金等において野辺地町土地開発公社の解散に伴い、出資金分や残余財産の返還に伴う皆増もありましたが、1目不動産売却収入で3,546万8,851円の減となったことによるものであります。

次に、中段、17款寄附金、収入済額2,674万1,500円、前年度に比較すると1,407万1,237円、率にして111.06%増加しております。これは、主に指定寄附金公表不可の寄附者様からのご寄附によるものであります。

なお、ふるさと納税は183万1,500円減少しております。

続きまして、一番下の段、18款繰入金、収入済額5億1,409万8,763円、前年度に比較すると6,710万9,996円、率にして15.01%増加しております。これは、次の54、55ページをお願いいたします、1項特別会計繰入金において1,391万3,478円の減となった一方で、2項基金繰入金で8,102万3,474円の増となったことによるものであります。

なお、基金の状況につきましては、決算書348ページに資料を掲載しておりますので、ご参考にしていただきたいと存じます。

続きまして、56、57ページ中段をお願いいたします。19款繰越金、収入済額1億5,172万9,641円、前年度に比較すると2,479万6,282円、率にして14.05%減少しております。

次に、20款諸収入、収入済額7,629万8,833円、前年度に比較すると353万6,965円、率にして4.43%減少しております。これは、主に58、59ページをお願いします、4項受託事業収入が5目一体的実施事業収入で857万8,689円皆増となった一方、5項雑入で1,215万9,815円の減となりました。この



減は、3目雑入、2節雑入に区分されるコミュニティ助成事業助成金での事業採択が令和6年度はなく、皆減となったことによるものであります。

62、63ページをお願いいたします。21款町債、収入済額12億4,961万6,000円、前年度と比較すると2億2,693万4,000円、率にして15.37%減少しております。町債の主たる増減は、1目総務費で新庁舎建設事業などにより5億5,980万円の減、4目労働費で勤労青少年ホーム改修事業で2,130万円の減となりましたが、一方で64、65ページをお願いいたします、8目消防債で消防用車両及び消防団車両の整備事業で1億4,510万円、9目教育債で町立体育館改修事業、スクールバス整備事業及び統合小学校新築事業などにより8,900万円の増となりました。

なお、歳入全体に占める町債の割合は14.27%で、前年度と比較すると2.52ポイント減少しております。

以上、14款国庫支出金から21款町債までの収入済額の概要についてご説明いたしました。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 決算書40ページ、14款国庫支出金から65ページ、21款町債まで質疑を行います。質疑ありませんか。

10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） おはようございます。61ページの雑入の中の広報広告料についてですが、これ令和5年度が36万円、令和6年度は19万2,000円ということで、4割強減少していると思うのですが、広報のへじの広告掲載を依頼している業者数はどのくらい減少されているのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 答弁できる方は。

総務課長。

○総務課長（高山幸人君） すみません、お待たせいたしました。

広報広告料についてですが、令和6年度につきましては、合わせて6つの団体でございます。令和5年度につきましては、手元にちょっと資料がございませんので、後ほど回答することによってよろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 広告料の収入がとても減っているということで、広報のへじに広告を掲載する基準とか単価とか、それから掲載する場所等の見直しとか、そういうもので、逆に広告料が増えるような手だてなど、今後どのような改善、工夫がなされるべきかを検討する余地はありますでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 総務課長。

○総務課長（高山幸人君） お答えいたします。

県内の他市町村の状況など、ちょっと情報収集して、当町においてこの基準ですとか金額がどの辺の位置にあるのか確認して、それから検討してみたいと思います。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） 48ページの4目農林水産業費県補助金、1節農業費補助金の農地利用最適化交付金、これが令和5年度より325万円減になっている。これは、なぜこんなに減になったのか。

あと3節水産業費補助金、この水産業強化支援事業費、これはどのような支援事業なのか。これは、ホタテの……

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君、質疑は1つ、1項目ずつにしてください。

○3番（木戸忠勝君） はい。

それでは、1節農業費補助金、農地利用最適化交付金、これが令和5年度より325万円ほど減になっているけれども、この減になった理由の説明をお願いします。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

これは、農業委員、それから農業委員会の推進員の活動費が支払われるものでございまして、活動が前年よりも少なかったというのが主な原因かと思われます。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 42ページです。14款4目土木費国庫補助金の1節社会資本整備総合交付金、これの烏帽子岳線（A）舗装補修事業費に1,100万円余りが充てられるための歳入だということですが、これ実際の工事費の何%が交付されるのかお尋ねします。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課長。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） 質問にお答えします。

まず、補助に該当する事業費の、今回の金額であれば率は0.525の率で交付のほうを受けております。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 確認ですが、0.525%ですか。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課長。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） パーセントで言いますと52.5%、社総交の場合、約5割が基本となっております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） ほかの道路工事には、この交付金というのは交付されないのか。されない

とすれば、その理由を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課長。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） 今回社会資本整備事業、こちらのほうに該当する事業、まずメニューの中で当てはめていっている形になっております。今回この事業に当てはめたのが除雪と公営事業のストックということになります。ほかの事業は、起債で賄っている部分とかはありました。以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 54、55ページです。減債基金繰入金です。3,400万円余り繰入れしておりますけれども、この減債基金の使い道、目的を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西舘峰夫君） お答えいたします。

減債基金の繰入れですけれども、令和6年度の臨時財政対策債償還分が851万4,000円、残りの分が繰上償還、今回元金に充当しております。歳出で出ていますけれども、そちらのほうに充てております。これが合わせて3,428万6,000円になっております。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 臨財債の償還に充てたということでいいのでしょうか。臨財債の償還は100%交付税算入ということで承知しているのですけれども、その辺もう一度お願いします。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西舘峰夫君） 臨財債のほうに充てさせていただいております。こちらも、ちょっと利率とかいろいろなものを見ての検討の結果です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 地方交付税に100%交付税算入された分というのは、臨財債の償還には充てていないという解釈でよろしいですか。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西舘峰夫君） お答えいたします。

臨財債の分は、理論償還になっていて、毎年の償還額を報告して、その何割という算入がされるのではなくて、許可額、何年度に幾ら許可がありましたよということで算入されますので、途中で繰上償還しても影響ないと検討した結果であります。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） 48ページの4目農林水産業費県補助金の3節水産業費補助金、これ水産業強化支援事業費とあるのだけれども、これはどういうふうな事業なのか。これは、ホタテのタイの食害のほうに支援というか、これ使えないのか教えてください。

○議長（岡山義廣君） 木戸君、今は歳入のほうの質疑をしていますので、それに使えるかどうかは歳出の後で質問してください。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 62ページです。町債なのですけれども、確認になると思うのですが、補正予算で町債が1億1,000万円余り減額された理由というのはそれぞれあると思うのですが、主なところをご説明願いたいのですが。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西舘峰夫君） お答えいたします。

62ページのほうの1目総務債とあるところが補正予算で一番大きく9,300万円減額されております。こちら令和6年度の当初予算のときには、新庁舎に充てるほうの地方債を9割で見えていて、途中で交付税算入の対象となる90%から75%に借入れを抑制した、こちらが大きい要因です。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで歳入の質疑を終わります。

歳出に入ります。1款議会費から5款労働費まで、会計管理者から説明を求めます。

会計管理者。

○会計管理者（長根一彦君） 一般会計の歳出についてご説明申し上げます。

初めに、決算書200、201ページをお願いいたします。歳出、予算現額合計91億74万6,000円に対し、支出済額合計は86億1,514万6,055円で、前年度に比較すると2,781万9,910円、率にして0.32%減少しております。

支出済額について、前年度との比較及びその主な増減内容を申し上げます。70、71ページをお願いいたします。1款議会費、支出済額7,615万9,752円、前年度に比較すると1,093万5,019円、率にして16.77%増加しております。これは、主に報酬、議員期末手当及び議員共済費の増によるものであります。

2款総務費、支出済額18億1,298万6,395円、前年度に比較すると5億3,590万9,428円、率にして22.82%の減となりました。総務費の主な増減は、80、81ページをお願いいたします。1項総務管理費、6目企画費で光ファイバ整備事業への補助などにより5,539万9,060円の増、82、83ページをお願いいたします、9目電子計算機管理費で地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づくシステム標準化移行業務の皆増もあり5,571万9,769円の増、84、85ページをお願いいたします、下段の13目定額減税補足給付金（調整給付）事業費で9,230万2,460円皆増した一方で、中段の12目新庁舎建設費で5億8,489万6,220円の減、またこの決算書にございませんが、令和5年度に実施終了した生活支援給付金事業分で8,510万9,295円皆減しております。

98、99ページ中段をお願いいたします。3款民生費、支出済額21億656万3,809円、前年度に比較すると5,101万7,720円、率にして2.36%減少しております。民生費は、前年度と比較し、1項社会福祉費で1億107万7,061円の減、2項児童福祉費では5,005万9,341円の増となりました。1項社会福祉費の主なる増減は、108、109ページをお願いいたします。12目から15目、国の物価高騰対策に関わる給付金事業ですが、12目及び13目の給付金事業は令和5年度からの事業で、令和5年度と比較し、合わせて1億5,898万4,424円の減、さらに決算書にはございませんが、令和5年度に実施終了した電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業分として6,762万1,784円皆減しております。14目、15目は、令和6年度に新たに実施した給付金事業で、合わせて8,052万7,047円皆増となりました。

110、111ページをお願いいたします。2項児童福祉費の主なる増は、1目児童福祉総務費で、令和6年度から実施の小学校、中学校への入学時の祝金交付事業で、合わせて665万円の皆増、112、113ページをお願いいたします、2目児童保育費、12節委託料で児童手当システム改修業務の皆増などにより909万1,065円の増、その下19節扶助費は2,134万9,140円の増、このうち児童手当は1,475万5,000円の増で、これは児童手当の支給対象者を昨年10月から高校生まで拡充したほか、第3子以降の子供への手当を増額したことによるものであります。

116、117ページ下段をお願いいたします。4款衛生費、支出済額9億8,197万7,927円、前年度に比較すると4,616万6,676円、率にして4.49%減少しております。衛生費の前年度と比較した主なる増減は、120、121ページをお願いいたします、1項保健衛生費は2目予防費、12節委託料で新型コロナウイルス予防接種に関わる事業で1,463万5,021円皆増となった一方で、この決算書に記載はございませんが、令和5年度に実施した新型コロナウイルス感染症対策に関わるコールセンター設置等の事業終了により4,931万964円の皆減もあり、1項保健衛生費は2,898万5,141円の減となっております。

124、125ページをお願いいたします。2項清掃費、1目清掃総務費、負担金で北部上北広域事務組合の負担金が2,177万9,000円減となったことなどから、2項清掃費は2,194万871円の減となりました。

128、129ページ中段をお願いいたします。5款労働費、支出済額967万1,016円で、前年度に比較すると2,146万5,939円、率にして68.94%減少しております。これは、主に体育センター屋根改修工事の完了による減であります。

以上、1款議会費から5款労働費までの支出済額の概要についてご説明申し上げました。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 歳出、1款議会費から5款労働費まで、款ごとに質疑を行います。

初めに、70、71ページ、1款議会費について質疑はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで1款議会費の質疑を終わります。

次に、2款総務費ですが、ページ数が多いので、2つに分けて質疑を行います。70ページから87ページまでの1項総務管理費について質疑はありませんか。

10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 77ページの下の方にあります財産管理費の需用費の光熱水費ですが、予算が1,500万円ほどを取っていたと思うのですけれども、決算額が1,000万円ということで、不用額が多いのではないかと思いますのですが、理由をお願いします。

○議長（岡山義廣君） 防災管財課長。

○防災管財課長（木明裕二君） お答えいたします。

まず、昨年度は旧庁舎から新庁舎へという移行の年でございましたので、新庁舎の電気料等を予測といいますか、ちょっと多めに予算を盛っておりました。その結果、減となったものでございます。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） その下の役務費の電話料なのですが、前年度と比べて2倍ぐらいの決算額になっておりまして、令和7年度、今年度の予算も390万円になっておるのですが、年々とても増加しているのですけれども、この理由をお願いします。

○議長（岡山義廣君） 防災管財課長。

○防災管財課長（木明裕二君） お答えいたします。

新庁舎になりまして、これまで分散しておりました課が1つの課となりましたので、その分電話料等も当然増えている現状でございます。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 70、71ページです。総務費全般なのですが、不用額が7,600万円余りありまして、これは経費削減を頑張った成果の部分があるとすれば、どの部分の経費を削減して、これぐらいの不用額が出たのか。経費削減の努力した部分があれば教えてください。

○議長（岡山義廣君） 赤垣君、ちょっと待ってください。

担当課長、時間がかかるようであれば、かかるというような話をしてください。

企画財政課長。

○企画財政課長（西舘峰夫君） お答えいたします。

ちょっと各課にまたがる事業になりますけれども、企画費などでも2,000万円余り出ております。

こちら繰越事業などが全額繰り越してきたものの、例えば光ファイバーが全て決算していないなど、繰り越した場合には補正予算なども効かなくて、途中でこの分調整して減らすことができなかったものなどが積み上がって、この額になっているものです。もちろん節減もしておりますけれども、節減分と、そういった予算上の事情の分を分けていなかったなので、ご理解をお願いします。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） 81ページの12節委託料、工業団地町有林間伐業務とあるのですが、間伐した木材というのは、これ売却はしてあるのですか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

伐採業務に関しまして、伐採した木材は売払いしております、その収入に関しましては、53ページ中段にございます物品売払収入の伐採木232万4,950円、これが収入額になります。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 同じく81ページの委託料の中の総合計画策定業務に関連なのですが、総合計画の前期基本計画の内部評価をされておりますけれども、その評価の結果の公表がホームページ上で直近のものが公表されておらないのですが、この内部評価の公表することは検討されますでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西舘峰夫君） お答えいたします。

令和6年度なのですが、総合戦略のほうを1年延長して、今の後期のまちづくりと計画期間を一体化させるときの作業の中で、その最終的な評価を6年度中に行えなかったということがあります。なので、ちょっとずれておりますけれども、期ずれした分をやり次第ホームページで公表したいと思います。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 同じページです。一番上の旅費のところなのですが、執行率が23%になっておるのですが、当初計画で予定していた事業等に、参加しようとしていた事業等の中で、何を執行しなかったのか、主なものを教えていただけますでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西舘峰夫君） お答えいたします。

まず、企業誘致関係などの旅費なども含まれておりますけれども、こちらのほうが当初予定していたものの半分、執行が半分で11万円ぐらい、あとUターンフェアとかという移住の、こちらに戻ってきてもらうためのPRなどについても、予算化していたものに比べて参加人数を抑制したということもありまして、減っております。その間に地域おこし協力隊の募集などに関わるものにつ

いても、当初は予定人数を多めに取ってあったものの執行が減っております。これらによって、執行率が4割などになっております。

○議長（岡山義廣君） ほかにございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 次に、86ページ、2項徴税費から99ページ、7項安全安心まちづくり対策費まで、質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで2款総務費の質疑を終わります。

次に、98ページから117ページまで、3款民生費について質疑ありませんか。

10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 101ページの社会福祉総務費の扶助費のお出かけ支援タクシーのことです。予算当初よりも幾らか決算額は低いのでありますが、利用を増やす方策等、今後どのように改善する計画であるか、事業の方向性を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） お答えいたします。

お出かけ支援タクシー利用料金の助成費のことですけれども、令和6年度より1か月お一人当たり2枚から3枚に増やして利便性を図る対策を取ってございました。利用率なのですけれども、全体で言いまして、大体63.1%ほどになっております。

内容としましては、まずはタクシー会社さんのほうに、タクシーの台数よりも運転手さんが少ないというところで、基本的に希望があっても配車できない方がいらっしゃるということは確認しておりまして、我々としましても、午前中の早い時間に利用が集中する状況でありますので、午後だったり、時間をずらして利用していただけるようお願いをしているところです。

それに係る苦情は、昨年度よりも大分減っている状況です。一番の原因としましては、皆さんタクシーの助成金を万が一のために取っておく方が多いというお話が多い状況で、何かあったときのために、あと冬用にとっておいておりますという方も多くいらっしゃる状況でした。そうであれば、安心のために、お持ちいただくということもあるのかなと考えております。

利用者の方は、今どんどん増えているような状況ですので、使いづらさとか、使い勝手については今後も情報を収集していきたいと思っております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 100ページ、101ページです。今の話と一緒に、お出かけ支援タクシー利用料金助成金の今の説明の中で、利用者さんが午前中に集中してタクシーの配車が間に合わない



かという説明もあったのですけれども、結局はこういう助成金という制度を設けても利便性が改善されない、要は困っている方々にしっかりと行き届かないという現状が見えていると思います。これについて、町長に伺いますが、公共交通機関の町としての在り方について見直す考えがありませんか。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） お答えいたします。

公共交通機関、そのほか町民の足、こちらのほうに関しては、地域公共交通計画のほうの策定を来年度する予定で、今回補正予算のほうにも、その会議を開く分の費用などを盛っておりますけれども、着々と準備をして見直していきたいと思っています。お願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 企画財政課長の説明、ありがとうございます。事務的なところでは進めているということで、ありがとうございます。

町長の考えとして、公共交通機関、例えば町民バス等、こういったタクシー、使いたくてもタクシーの台数が足りない、運転手さんが少ない、こういったところ、それからバスに関してもそうですけれども、かなり不便を感じている町民が多いと理解しています。町長、今後この町民の足についてどのようにお考えでしょうか。計画は計画として、町長の考えを聞きたいのですけれども。

○議長（岡山義廣君） 町長、答弁。

○町長（野村秀雄君） 一般質問において、大湊議員に回答したとおりでございます。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 大湊議員に回答されたということですが、私の質問に答えていただきたいのですけれども。

○議長（岡山義廣君） 副町長、答弁。

○副町長（江刺家和田夫君） 同じ答弁書を読み上げればよろしいでしょうか。

それとも、簡潔に申し上げれば、公共交通に関しては問題意識は持っております。大湊議員ほか、いろんなデマンド交通とか、ライドシェアとか、いろいろあるのですけれども、まずは来年度、総合的な計画を策定し、そこから始めていくと。そうすることによって、国庫補助金等も有効に活用できるということでお答えしたとおりでございます。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣君、今の件についての質問だと、もう3回目になりますので、2回まで許可しますけれども、そのほかございませんか。

10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 113ページの児童館費についてというか、児童館に関係することなのですが、420ページの主要な施策の成果に関する調書の中で、児童館の利用状況で中・高校生が2名利用

されているというふうにありますけれども、児童館の利用者の範囲は幼児及び学童をとっておりますので、この中学生2名の利用というのはどういう理由であるか、説明をお願いします。

○議長（岡山義廣君） 健康づくり課長。

○健康づくり課長（木明 修君） お答えいたします。

児童館を利用できる方の年齢ですけれども、高校生の年代までは利用できるようになっております。それで、この資料の中学生の利用につきましては、小学生の兄弟がいるとかという形で一緒に来たものと思われます。

以上でございます。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 98、99ページ、民生費の不用額が8,100万円余りあります。民生費というのは、やはり住民福祉に使われるべきお金ということで認識していますけれども、不用額がこれだけ出たというのは、町民に対するサービスが行き届かない部分があったのではないかなと推測される部分なのですけれども、あえて削減を努力したという部分があるのかどうか、あればその内容を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） ご質問にお答えします。

民生費につきましては、非常に幅広くなっておりまして、基本的に障害福祉のところ、その比重が高いのですが、その障害福祉に係るいろんな扶助費については、非常に毎年変動があります。お一人当たりの単価が高い扶助費もありますので、毎年補正予算で計上したり、あとはマイナスになったりとかしながら対応している状況であります。

あとは、やはり令和6年度について一番大きいのが、国からの物価高騰対策の種々の給付金による不用額も多くを占めておりますので、ご理解いただければと思います。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 104、105ページの障害福祉対策費の19節扶助費1,600万円弱の不用額のところを今説明いただいたと思います。これは、想定していた対象者というか、人数までは使われなかったから、これだけ余ったよというような説明の解釈でいいでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） お答えします。

障害福祉対策給付費につきましては、先ほども申し上げましたとおり、毎年非常に変動がありまして、当初予算に計上する段については、その前年度の実績を見込んで計上しております。

あと、法改正も多くありまして、給付費の変動もございます。それに伴い、やはり変動は多くて、

令和6年度の不用額はトータル1,600万円にはなりましたが、増えている給付費もあります。そうすれば、非常に減額になったのもありますので、基本的に我々としましては想定内の範囲と。あとは、希望される方、申請する方には漏れなく対応しておりまして、利用したいけれども使えないという方はいらっしゃるかと把握しております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 116、117ページの母子福祉費になると思うのですが、主要な施策の成果に関する調書の418ページにこそだて応援コンシェルジュというところの項目がございます。実績と評価、そして事業の方向性など説明をお願いします。

○議長（岡山義廣君） 健康づくり課長。

○健康づくり課長（木明 修君） お答えいたします。

こそだて応援コンシェルジュ事業につきましては、子育て世帯に対する情報提供であるとか、相談とかを受けたり、助言を行うコンシェルジュ、保健師や助産師を配置して子育て支援を実施しております。具体的な相談人数などにつきましては、ちょっと今手元に資料がございませんので、後ほど回答したいと思います。

以上でございます。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで3款民生費を終わります。

次に、116ページから129ページまで、4款衛生費について質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで4款衛生費の質疑を終わります。

次に、128ページ、129ページ、5款労働費について質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで5款労働費の質疑を終わります。

10時50分まで休憩します。

休憩（午前10時41分）

---

再開（午前10時51分）

○議長（岡山義廣君） 再開します。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 質疑をして、答弁いただいた後に、メモなりなんなりする時間的な余裕を

少しご配慮願いたいのですが、よろしくお願いします。

○議長（岡山義廣君） よく分かりました。

再開します。

---

◎答弁の保留分について

○議長（岡山義廣君） 大湊議員に対して保留している答弁について、総務課長より答弁いたします。

総務課長。

○総務課長（高山幸人君） 歳入の61ページ、雑入の中の広報広告料、令和6年度は6つの団体というふうにお答えいたしましたが、令和5年度につきましても分かりましたので、お答えいたします。令和5年度につきましては、11の団体ということになります。

○議長（岡山義廣君） 次に、同じく大湊議員への保留している答弁がありましたので、健康づくり課長、答弁してください。

どうぞ。

○健康づくり課長（木明 修君） お答えいたします。

先ほどご質問ありましたこそだて応援コンシェルジュの実績につきまして、令和6年度分をご報告いたします。相談件数は、全部で102件ございまして、そのうち電話相談が73件、窓口などでの相談が29件となっております。主な相談内容につきましては、乳児では発育、発達などに関すること、あと幼児では予防接種、それ以上の子供につきましては、育児などに関する相談が多くありました。

相談対象者の内訳としましては、乳幼児が69件、学童、生徒が11件、それから産婦や妊婦さんなどが22件ありました。

以上でございます。

---

○議長（岡山義廣君） 歳出、6款農林水産業費から14款予備費まで、会計管理者から説明を求めます。

会計管理者。

○会計管理者（長根一彦君） 引き続き歳出についてご説明申し上げます。

決算書、128、129ページ下段をお願いいたします。6款農林水産業費、支出済額4億5,125万8,666円、前年度に比較すると1億5,597万7,180円、率にして52.82%増加しております。主たる増減は、134、135ページをお願いいたします、2項林業費、2目柴崎地区健康レクリエーション施設管理費における令和5年度実施の遊具設置工事の完了などにより1,386万8,966円の減となった一方で、138、139ページ下段をお願いいたします、3項水産業費、2目漁港・漁場整備費、野辺地漁港

荷さばき施設改築工事関係で1億6,947万7,151円の増となりました。

140、141ページをお願いいたします。7款商工費、支出済額1億5,120万4,080円、前年度に比較すると4,149万559円、率にして37.82%増加しております。これは、主に1目商工総務費のプレミアム商品券発行事業によるものであります。

148、149ページ中段をお願いいたします。8款土木費、支出済額3億7,966万7,767円、前年度に比較すると5,015万1,144円、率にして15.22%増加しております。主なる増減は、150、151ページをお願いいたします、下段の2項道路橋梁費、2目道路新設改良費で道路の補修改良工事などで2,385万4,973円の増、152、153ページをお願いいたします、3目除雪対策費で除排雪に関わる業務委託、除排雪機器の借り上げ及びホイールローダーの購入などにより4,750万1,983円の増、また河川費は河川改修測量設計業務の皆増などにより1,062万7,120円の増となりました。

一方で、154、155ページをお願いいたします、中段5項都市計画費で、記載はありませんが、令和5年度に実施終了した都市計画基礎調査業務や児童公園遊具設置工事などにより1,251万651円の減となっております。

156、157ページをお願いいたします。6項住宅費において、記載はございませんが、敦平団地解体工事の完了などで2,584万2,522円の減となりました。

158、159ページ中段をお願いいたします。9款消防費、支出済額6億5,810万3,329円、前年度に比較すると1億6,865万8,877円、率にして34.46%増加しました。これは、主に1項消防費、1目常備消防費、北部上北広域事務組合への負担金において、野辺地消防署へ配置した消防化学車両や2目非常備消防費での消防団車両を購入したことなどにより増となっております。

160、161ページ中段をお願いいたします。10款教育費、支出済額7億3,289万8,287円、前年度に比較すると1億5,149万924円、率にして26.06%増加しております。教育費は、1項教育総務費から5項保健体育費までの全ての項で前年度より増加しております。主なる増は、1項教育総務費、2目事務局費、162、163ページをお願いいたします、下段となりますが、スクールバスの購入などで1項教育総務費は1,813万6,328円の増、170、171ページをお願いいたします、中段2項小学校費、5目小学校統合事業費で改築工事設計業務などの事業により7,346万2,949円の増、188、189ページをお願いいたします、5項保健体育費、3目体育館費で非常用照明や屋根塗装等の改修事業などで増となったほか、190、191ページ下段をお願いいたします、6目まかどスポーツセンター費、令和6年度から供用を開始した施設で維持管理費が皆増となっております。5項保健体育費は、5,036万9,966円の増となっております。

194、195ページをお願いいたします。中段の11款災害復旧費は、支出済額はありませんでした。

12款公債費、支出済額7億6,799万9,523円、前年度と比較すると2,018万1,676円、率にして2.70%増加しました。1項公債費、1目元金、長期債約定償還元金は700万9,170円の増となりました。み

ちのく銀行への償還は、定期償還に加え、残りの元金2,577万2,600円全額を繰上償還しております。2目利子は、一時借入金利子を除いた長期債約定償還利子が1,309万5,138円の増となりました。これは、主に地方公共団体金融機構から令和5年度に借入れした新庁舎建設事業に関わる償還利子となります。

196、197ページをお願いします。13款諸支出金、支出済額4億8,665万5,504円、前年度に比較すると2,785万4,474円、率にして6.07%増加しております。初めに、主なる減ですが、1目財政調整基金で3,688万5,000円、7目役場庁舎建設基金費で8,061万7,000円の減となりました。

次に、主なる増ですが、3目学校建設基金費で8,002万8,000円、公共施設基金費で4,526万7,000円の増、10目農山漁村活性化基金は1,650万8,000円の皆増となりました。

198、199ページをお願いします。14款予備費、充用が41件で669万円措置されました。前年度に比較すると、件数で5件、金額では429万8,000円の減となりました。

以上、6款農林水産業費から14款予備費までの支出済額概要についてご説明申し上げました。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 6款農林水産業費から14款予備費まで、款ごとに質疑を行います。128ページから141ページまで、6款農林水産業費について質疑ありませんか。

3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） 133ページの農業振興費の18節負担金、補助及び交付金、この備考欄に野辺地町農業振興事業とあるのですが、これ事業の内容、説明をお願いします。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

野辺地町農業振興事業につきましては、農家さんに対しての肥料代とか、あとは融雪剤、それからラジコンヘリコプターでの費用、噴霧する費用、それらを補助するためのものであります。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） これは、1戸当たり幾らと上限を設けてあるのですか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

それぞれ補助金、補助率が4分の1になっておりまして、全部予算内のほうで、農協さんのほうで割り振りしていただいているものであります。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） それと、新規就農者等農業用機械導入支援事業とあるのですが、これは新規就農者が機械を購入した場合には、83万5,000円が上限ということですか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） これは、新規就農者に対しましては、補助率が50%になっておりまして、認定農業者に関しては30%の補助率となっております。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） それと、農作業機械修繕費支援事業とあるのですけれども、これ1戸当たりの上限というのは決めてあるのですか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

これは、補助率は2分の1で、上限は10万円となっております。

○議長（岡山義廣君） 9番、野坂 充君。

○9番（野坂 充君） 鳥獣対策について伺います。

○議長（岡山義廣君） ページ数を言ってください、何ページ。

○9番（野坂 充君） 農業全体。

毎日、熊、猿、イノシシの放送が流れていますけれども、今野辺地町には猟友会がなく、突然熊が出てきたときの対応について、どういうふうに考えているのか教えてください。

○議長（岡山義廣君） 産業振興部長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

町内、熊、イノシシ、イノシシは最近来ておりませんけれども、熊が多く出没しております。場所とは言えませんが、熊を捕獲するためのわなを仕掛けております。これは、横浜町の猟友会の指示に基づきまして仕掛けておりますけれども、野辺地町の役場職員3名、今年資格を取りました、わなの資格ですけれども。ただ、猟銃で発砲となれば、野辺地町内、銃を持っている方がいませんので、出たらすぐ出動して捕獲する、銃で捕獲するというのもなかなかできない難しい問題もございますけれども、取りあえずは捕獲わなを仕掛けて、この経路を歩いているというのも大体分かり始めておりますので、そこに仕掛けている状況でございます。

○議長（岡山義廣君） 9番、野坂 充君。

○9番（野坂 充君） 北海道では、死者も出ているということで、野辺地もそういうことになりかねない状況に、もう町なかにも熊が出ているということで、そういう犠牲者が出ないうちに、町として何らかの対策、猟銃の許可を取るための補助とか、そういうことを考えてはどうでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

令和7年度ですけれども、資格を取るための補助する費用も計上しておりました。ただ、一般の方からの申請が来なくて、役場職員、急遽3名取らせたのが現状であります。なので、来年度以降もホームページ、あるいは広報のへじに載せて、一般町民の方からも募集したいと思っております。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） 139ページ、水産総務費の18節負担金、補助及び交付金の備考欄の下の方、補助金、地まきホタテ稚貝放流事業費とあるのですけれども、これ令和6年度は383万円ほど減になっているのですけれども、この減にした理由というのは何でしょうか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

まず、地まきホタテの稚貝放流事業費ですけれども、当初予算には500万円ほど予算計上しておりましたが、申請に基づきまして交付決定した金額が104万1,000円であります。ホタテ養殖漁業者支援事業に対しましても、570万円当初予算に計上しておりましたが、申請があったのが98万7,000円になっております。

以上であります。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 140、141ページです。下のほう、空き店舗・空き家活用事業、120万円ほど補助金ですか……

○議長（岡山義廣君） 6款まで。

○11番（赤垣義憲君） すみません、間違えました。

194、195ページです、すみません。

○議長（岡山義廣君） 194、195……今6款の農林水産業費ですから。

ほかにございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで6款農林水産業費の質疑を終わります。

次に、140ページから149ページまで、7款商工費について質疑ありませんか。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 大変失礼しました。140、141ページの空き店舗・空き家活用事業120万円のところでありますけれども、家屋、それから店舗、それぞれ実績というのはどれぐらいあるのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

昨年度は、2件の申請がございました。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） それは、一般家屋か、空き家か、店舗か、教えてください。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。



○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

空き店舗になっております。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 同じく141ページの負担金、補助及び交付金の販売促進事業についてです。令和5年度、6年度と2か年続けて事業をやっているのですが、予算執行が3分の1ぐらいで、これをどう評価しているのか、それから事業内容の見直し検討の余地はあるのかどうか伺います。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

販売促進事業に関しましては、令和5年度の実績でございますが、申請件数が5件になっております。決算額として111万1,000円。主なものは、デジタルサイネージに広告の掲載とか、あとはチラシ、折り込み、バナー設備改修とか、あとはうちわの製作、テント製作等々が実績として出ております。要望がありましたら、中身を検討していきたいと考えます。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 143ページの観光費の報償費、のへじ北前応援大使ですがけれども、主要な施策の成果に関する調書を見ますと、今後の取組についてを懇談会で共有したとあります。この応援大使の活動状況をもう少し町民の皆様にも見せられるようなやり方、観光大使の活動を発信する等をご検討する余地はないでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

検討はしていきたいと考えております。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） それとあと、のへじ北前応援大使をちょっと見直すというのもどうかと思います。北前だけでなく、野辺地町を応援するという、町を応援する大使ということで、町ゆかりの方々を全国に、世界に行っている方々を大使をお願いして野辺地町のPRをしていただくというふうな、この観光大使自体の事業の見直しというか、新たな試みというか、そういうものをぜひ検討したらどうかと思うのですけれども、その辺どうお考えであるか伺います。

○議長（岡山義廣君） 町長、答弁。

○町長（野村秀雄君） 答弁申し上げます。

議員ご指摘のとおり、実績というのはなかなか出ないわけなのですけれども、今お話しのように野辺地町出身のみならず、野辺地町に関心のある有名な方を発掘して大使になっていただくということも考えてはおります。長い間やっぴりまして、音沙汰のない方があって、もうこちらからお断りした方も何人かいらっしゃるのですけれども、今の方々は、もう常に発信していただいたり、来

ていただいたりして、懇談させていただいておりますので、今おっしゃったとおりのことだったので、私も何かもう少し活発なことができればいいなという思いはありますので、これから十分に考えていきたいと思います。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 次に、145ページのスキー場費のことです。昨シーズンのクロスカントリーのスキーコースがすごく窮屈な状況になってしまって、春の町からの説明では、あったかハウス前の広場も町が借りられるようにということでお話はいただきましたが、今シーズンはどうなのか、スキーのコースはどうなるのかという現状を伺うことはできないでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 大湊君、決算についての質疑でございます。そのことについて質問するようにしてください。

10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 147ページの地域資源活用費のみちのく丸の件です。主要な施策の成果に関する調書を見ますと、一般公開は中止ということで、新型コロナウイルス感染症の影響と老朽化によるという文言だけなのですけれども、今後の事業の方向性について、そろそろ考えていくべきではないかと思うのですが、その点の説明をお願いします。

○議長（岡山義廣君） 町長、答弁。

○町長（野村秀雄君） お答え申し上げます。

みちのく丸については、これまでどおり危険な状態になっていて、立入禁止にはしておりますが、塗装やら雪囲いなどして、安全に見ることができる間はそのままの状態にして、皆さんに見ていただきたいとは思っております。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 7款商工費の質疑を終わります。

次に、148ページから159ページまで、8款土木費について質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 8款土木費の質疑を終わります。

次に、158ページから161ページまで、9款消防費について質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで9款消防費の質疑を終わります。

次に、10款教育費ですが、ページ数が多いので、2つに分けて質疑を行います。

160ページ、1項教育総務費から175ページ、3項中学校費まで質疑ありませんか。

10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 161ページになります。10款1項2目1節報酬の中で、中学校の学校運営協議会委員が決算額ゼロであります。「組織等見直しのため休止」ということが後ろに書いてありますけれども、ここ具体的な説明をお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 学校教育課長。

○学校教育課長（飯田 満君） それでは、お答えいたします。

昨年度、中学校の学校運営協議会を休止した理由ですが、校長先生が参画するメンバーを見直して新たな形で進めたいということで、令和6年度休止としました。そして、令和7年度は幅広く人材を集めまして、新たにコミュニティスクールをスタートしているということでございます。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 165ページになります。10款1項2目18節負担金、補助及び交付金なのですが、コロナの前まで海外語学研修事業というものをやっておりました。コロナ明けですので、そろそろこれを復活させて事業を行うという検討の余地はありませんでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 学校教育課長。

○学校教育課長（飯田 満君） お答えいたします。

以前行っていました海外語学研修ですが、こちらは八戸学院野辺地西高校が海外と提携している学校がございまして、西高校が実施した経緯がございます。ですが、西高校、令和9年度に五戸町へ移転ということが決定しておりますので、海外語学研修については今後も実施する予定はございません。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 今西高校のお話だったのですけれども、さらに遡った決算書を私見ましたところ、野辺地高校の生徒さんも海外語学研修に行っていたと記憶しております。今後野辺地高校を存続させるためにも、この事業を復活させるというような検討の余地はないものでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 学校教育課長。

○学校教育課長（飯田 満君） 以前野辺地高校の生徒も行っていたのではないかというお話ですが、ちょっと記憶の範囲になりますが、野辺地高校の生徒が行ったものは、何かの海外の研修に生徒個人が参加したという形であったかと思います。西高校の場合は、学校団体に実施していましたが、野辺地高校と協議を進めながら、そういうニーズがあるか、生徒さんがいるかどうかも含めて学校と話し合いながら進めていきたいと思っております。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 162、163ページ、真ん中辺、12節委託料、スクールバス運転業務についてお伺いします。

朝夕の運行内容、それから対象者をお聞きしたいのですが、朝は対象になる小中学生を乗せて学

校に送る、学校まで乗せていく、帰りは、聞きたいのは部活動で遅くなった生徒にどう対応しているのか、スクールバスに乗せているのかいないのか、乗せていないとすれば、その改善策を検討しているのかどうかというところまでお聞きしたいのですが。

○議長（岡山義廣君） 学校教育課長。

○学校教育課長（飯田 満君） スクールバスの運行です。まず、朝1便の運行でございますが、帰りは2便用意しております。部活動なしで帰れるお子さん、そして部活動があっても乗れる時間帯に運行しておりました。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 部活動をやってからでも乗れる便というのは、何時に学校を出る便でしょうか。

○議長（岡山義廣君） 学校教育課長。

○学校教育課長（飯田 満君） 今正確な時間の資料がございませんので、後ほどご報告いたします。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 次に、174ページの4項社会教育費から195ページ、5項保健体育費まで質疑ありませんか。

10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 177ページ、文化財保護費の報酬の中に記されておりましたが、前年度は文化財保護審議会委員、決算額4,200円がありました。令和6年度は審議会、同じく1回開催されております。ここに決算額が表記されていないのはなぜでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 答弁に時間がかかるようであれば、後で……ちょっと待ってください。指名をしてから。

中央公民館長。

○中央公民館長（二木智徳君） 資料のほうを持ち合わせておりませんでしたので、後ほどお答えしたいと思います。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 179ページの中央公民館費の中の需用費の燃料費です。令和5年度と令和6年度とともに予算の執行額が十分低いのでありますけれども、これは予算の過大見積りではないかと思うのですが、ちょっとその理由を説明してください。

○議長（岡山義廣君） 中央公民館長。

○中央公民館長（二木智徳君） 中央公民館の燃料費ですけれども、令和5年度と比較して、令和

6年度のほうの決算額が低いというご質問ですが、今まで重油でボイラーのほうとかをたいて暖を取っていたところを、令和6年度からエアコンのほうを設置いたしまして、エアコンのほうメインで暖を取ったり、暑いときはクーラーをつけたりしている影響で、燃料費の重油代のほうが節減できたと把握しております。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 同じく中央公民館のことなのですが、458ページの中で、利用実績、利用者数等のカウントがされておりますが、ここで文化祭期間にどのくらいの利用者がこの中にいるのか、人数等、文化祭の行事においてどのくらいの方が見に来られたのかというところの把握、利用実績等、分かりましたら教えてください。

○議長（岡山義廣君） 中央公民館長。

○中央公民館長（二木智徳君） 文化祭での利用者の人数のほうは、把握しておりません。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 以前私一般質問させていただいたのですが、この文化祭の来場者の把握は、やっぱり必要ではないかと思うのです。これを把握、出たり入ったり多くなるかもしれませんが、あらかたの把握が年々どのくらいになっているのかという推移を、やはり実績で見て、文化祭をそれ以降どうしていったらいいのかという検討材料にもなるので、ぜひカウントできればと思うのですが、そこの検討の余地はないでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 中央公民館長。

○中央公民館長（二木智徳君） 文化祭での利用者入り込みの人数については、考えられるやり方とすると、手でのカウンターとかの計測とかにはなるのかなとは思いますが、持ち帰って検討してみたいと思いますので、よろしくお願いします。

○議長（岡山義廣君） ほかがございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 174ページ、4項社会教育費から195ページ、5項保健体育費まで質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 10款教育費の質疑を終わります。

次に、194、195ページ、11款災害復旧費について質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで11款災害復旧費の質疑を終わります。

次に、194ページから197ページまで、12款公債費について質疑ありませんか。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 先ほど歳入のところでも伺ったのですが、公債費の臨時財政対策債の償還額、令和6年度は幾らだったかを教えてください。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西舘峰夫君） お答えいたします。

492ページになります。492ページの上に（５）、地方債と書いてある部分があります。これの下から５行目くらいに臨時財政対策債とありまして、中ほどに令和6年度元利償還額とあります。元金の償還は２億5,215万5,000円、こちらのほうが元金の償還額となっています。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） ありがとうございます。それに減債基金を幾ら充てたのか。全額でしたか。幾ら充てたのかを教えてください。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西舘峰夫君） お答えいたします。

851万4,000円充てた形となります。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで、12款公債費の質疑を終わります。

次に、196ページから199ページまで、13款諸支出金について質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで13款諸支出金の質疑を終わります。

最後に、198ページから199ページまで、14款予備費について質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで歳出の質疑を終わります。

暫時休憩します。

休憩（午前11時39分）

---

再開（午前11時45分）

○議長（岡山義廣君） 再開します。

---

◎答弁の保留分について

○議長（岡山義廣君） 赤垣議員への保留していた答弁に学校教育課長、答弁してください。課長、どうぞ。

○学校教育課長（飯田 満君） それでは、お答えいたします。

まず、夕方の便ですが、その授業によって変動はございますが、まず16時20分に第1便が出まして、そして第2便が18時30分でございます。

以上になります。

○議長（岡山義廣君） 大湊議員への保留していた答弁に答弁をお願いします。

中央公民館長、どうぞ。

○中央公民館長（二木智徳君） 大湊議員のご質問であります主要な施策の成果に関する調書の463ページのほうには、文化財保護審議会の開催が1回とついているところなのですが、決算書のほうでは報酬が伴っていないというご質問ですが、この文化財保護審議会1回というのは、実は中身のほうが②番の主要な施策の成果に関する調書、ふるさと検定の打合せということで集まった会議でございまして、本来の文化財保護審議会での会議の開催ではないということでございましたので、決算書のほう、報酬も伴わなかったということになります。

---

○議長（岡山義廣君） これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 討論なしと認めます。

これから議案第39号を採決します。

お諮りします。本件は認定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第39号については認定することに決定しました。

---

#### ◎散会の宣告

○議長（岡山義廣君） 以上で本日の日程は全部終了しました。

これで散会します。

（午前11時47分）